

—大谷大学・大谷大学短期大学部 2019 年度決算—

2019 年度決算は、公認会計士および監事の監査を経て、2020 年 5 月 25 日に開催された学校法人真宗大谷学園理事会において決定されました。

本学の会計は、公認会計士による監査を定期的に受けて処理しています。また、計算書類は、「学校法人会計基準」に従って、「資金収支計算書」「事業活動収支計算書」「貸借対照表」を作成しており、毎年、決算決定後、文部科学大臣に届け出ています。

■資金収支計算書■

資金収支計算書は、その年度の教育研究等の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において実際に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにするものです。

したがって、資金収入には、授業料や入学検定料、寄付金、国からの補助金のほか、次年度の授業料等の前受金なども含まれます。資金支出には、人件費や教育研究にかかる経費、学生募集・広報など管理部門にかかる経費、借入金返済支出、施設関係支出、設備関係支出などが含まれます。

収入の部では、学生生徒等納付金収入が前年度比 2.4% 増の 36 億 168 万円となりました。手数料収入は前年度比 2.3% 減の 1 億 5021 万円となりました。寄付金収入は、1 億 9144 万円となりました。補助金収入は、私立大学等経常費補助金(私立大学等改革総合支援事業、私立大学研究ブランディング事業)の他、天然ガス利用設備導入支援補助金等の各種補助金の採択により 5 億 2701 万円となりました。公開講座や講習会による付随事業・収益事業収入は、前年度比 4.5% 増の 3357 万円となりました。

資金収支の概況

資金収支計算書に基づいて、概要を説明いたします。

2019 年度の収入(「収入の部合計」-「前年度繰越支払資金」)は、54 億 5027 万円となりました。

支出(「支出の部合計」-「翌年度繰越支払資金」)は、52 億 6193 万円となりました。

支出の部では、教員人件費が 2.5% 減の 15 億 7663 万円、職員人件費が 1.7% 減の 9 億 5260 万円となっています。学生の教育研究および学生生活にかかわる教育研究経費は、前年度と同規模の 9 億 2328 万円となりました。教育研究経費には、就職支援のための経費や、基礎英語・日本語のリメディアル教育の拠点となる学習支援室の経費、教職支援や実習支援に関する経費等も含まれます。また、総務、財務、学生募集やその他広報に関する管理経費は、前年度比 0.4% 減の 5 億 841 万円となりました。施設関係支出は、響流館関係工事(GHP 更改工事等)や湖西キャンパスグラウンド芝生化工事等により 4 億 9475 万円の支出となりました。

2019年度資金収支計算書(2019年4月1日~2020年3月31日)

(単位 円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,601,677,770	人件費支出	2,650,398,687
手数料収入	150,211,110	教育研究経費支出	923,276,005
寄付金収入	191,437,922	管理経費支出	508,406,440
補助金収入	527,014,533	借入金等利息支出	3,083,100
国庫補助金収入	524,821,871	分担金等支出	12,360,000
地方公共団体補助金収入	2,192,662	借入金等返済支出	211,100,000
付随事業・収益事業収入	33,571,351	施設関係支出	494,748,237
受取利息・配当金収入	72,664,219	設備関係支出	70,137,358
雑収入	172,704,389	資産運用支出	600,000,000
前受金収入	623,495,800	その他の支出	45,553,454
その他の収入	868,180,222		
資金収入調整勘定	△ 790,687,400	資金支出調整勘定	△ 257,137,659
前年度繰越支払資金	4,234,837,083	翌年度繰越支払資金	4,423,181,377
収入の部合計	9,685,106,999	支出の部合計	9,685,106,999

■事業活動収支計算書■

事業活動収支計算書は、経常的な収支である教育活動収支、教育活動外収支と、臨時的な収支である特別収支に区分し、それぞれに対応する事業活動収入と事業活動支出の内容を明らかにするとともに、基本金組入後の均衡の状態を示すものです。

教育研究を提供する学校法人は、学校を永続的に維持する責任がより一層求められています。そのためには、資金収支の整合性が取れているだけでなく、事業活動収支のバランスを見ることによって、当該年度だけでなく、将来的な財政の健全性を見るのが重要になってきます。この点、資金収支計算書に比べて事業活動収支計算書は、長期的な観点をもっているものといえます。

事業活動収支の概況

資金収支計算書と重複する項目を除いて説明します。

教育活動収入では、寄付金のなかに現物寄付として現物を金額換算した317万円が含まれています。

教育活動支出では、教育研究経費と管理経費の中に含まれる減価償却額が、教育では5億265万円、管理では3802万円となっています。基本金組入前当年度収支差額は、1億1819万円となり、基本金組入後の当年度収支差額は△5億2105万円となりました。

学校法人の目的である教育研究活動を達成するためには、施設や設備など各種の膨大な運用財産を必要とします。貸借対照表は、これらの財産の保有状況を表し、教育研究に必要な財産が適正に維持・管理されているかどうかを示すものです。その意味でこの貸借対照表は重要であり、事業活動収支計算書とともに長期的な観点を持つものといえます。

ここでの資産は、保有する土地、建物、現金預金などを示し、負債とは、借入金や退職給与引当金など、いずれ支出となっていくものを示します。基本金は、学校法人が必要な資産を永続的に維持するために、事業活動収入のうちから組入れたものです。この基本金と繰越収支差額の合計が正味財産となります。

貸借対照表の概況

貸借対照表は、大谷大学・大谷大学短期大学部を設置する学校法人真宗大谷学園全体のものを、学校法人真宗大谷学園のホームページで公開しております。学校法人真宗大谷学園は、大谷大学・大谷大学短期大学部のほか、九州大谷短期大学、大谷高等学校、大谷中学校、大谷幼稚園を設置しています。

資産の総額は、533億5264万円で、前年度に比べて29億3331万円の増額となりました。内訳は、土地、建物、備品、図書および引当特定資産などの固定資産が444億7724万円、現金預金などの流動資産が88億7540万円となっています。

負債の合計は、58億9710万円で、前年度に比べて25億3703万円の増額となりました。内訳は、退職給与引当金などの固定負債が27億8453万円、未払金や前受金などの流動負債が31億1257万円となっています。

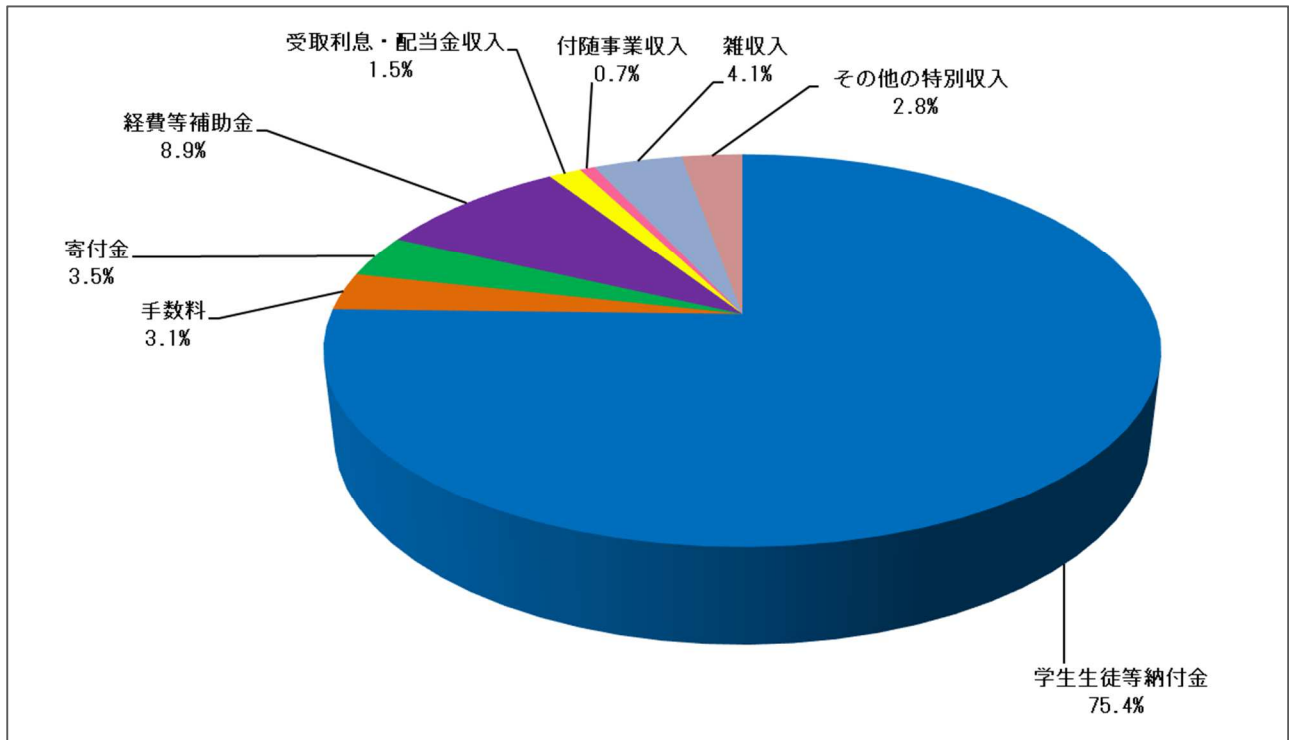
基本金は、485億7297万円となり、前年度に比べて7億8423万円の増額となっています。

詳細は「関連リンク」にあります「真宗大谷学園／決算報告・事業報告」をご覧ください。「財産目録」についても学園全体のものを公開しておりますので、あわせてご覧ください。

2019年度事業活動収支計算書(2019年4月1日～2020年3月31日)(単位:円)

	科 目	金 額	
教育活動収入の部	学生生徒等納付金	3,601,677,770	
	手数料	150,211,110	
	寄付金	166,878,924	
	経常費等補助金	423,359,868	
	付随事業収入	33,571,351	
	雑収入	194,353,163	
	教育活動収入計	4,570,052,186	
	支事出業の活動の部	人件費	2,662,763,159
		教育研究経費	1,429,196,745
		管理経費	546,454,878
徴収不能額等		0	
教育活動支出計		4,638,414,782	
教育活動収支差額		△ 68,362,596	
教育活動外収入の部	受取利息・配当金	69,596,956	
	教育活動外収入計	69,596,956	
	事業活動支出の部	借入金等利息	3,083,100
		教育活動外支出計	3,083,100
教育活動外収支差額		66,513,856	
経常収支差額		△ 1,848,740	
特別収入の部	その他の特別収入	135,538,116	
	特別収入計	135,538,116	
	事業活動支出の部	分担金等	12,360,000
		資産処分差額	3,135,323
		特別支出計	15,495,323
特別収支差額		120,042,793	
基本金組入前当年度収支差額		118,194,053	
基本金組入額合計		△ 639,245,646	
当年度収支差額		△ 521,051,593	
前年度繰越収支差額		597,284,676	
基本金取崩額		0	
翌年度繰越収支差額		76,233,083	
(参考)			
事業活動収入計		4,775,187,258	
事業活動支出計		4,656,993,205	

■2019 年度事業活動収入構成比率



■2019 年度事業活動支出構成比率

